



令和3年2月 予算議会代表質疑

市政を身近に

発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館 26階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.24

王子公園の再整備により、地域ブランド向上へ!!

スポーツ・地域

質疑のポイント

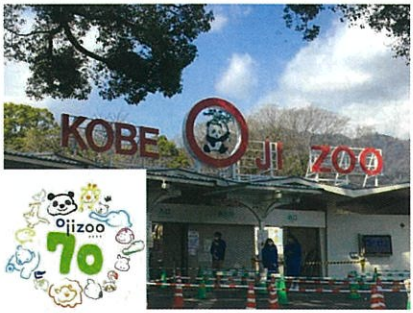
- ☑ 王子公園は、周辺に多くの教育・文化施設が立地する文教地区であり、年間 100 万人以上が来園する動物園とスポーツ施設が複数ある注目のエリア。
- ☑ 大学誘致や新スタジアム、芝生広場の整備を含む王子公園の再整備に向けた関連施設の調査検討等は、どのように行なわれるのか。

- ・動物園は、おおむね現在の位置でリニューアルする。有識者会議を設けて検討し、都市型動物園に求められている役割、展示方法などを議論していく。
- ・駅近いエントランス部に芝生広場などを確保する方向で検討。
○ 学の立地場所は東側のスタジアム周辺とすることを想定し、スポーツ施設については、利用状況などを勘案し再編する。利用団体などに利用状況など、ヒアリングを既に始めている。
- ・必要な基礎的調査を行い、公園全体のゾーニング、施設レイアウトの検討をする。令和3年度の早い段階で、公園全体の再整備計画素案を取りまとめ、利用者、地域住民などの意見を伺っていく。令和4年度に一部の事業について着手をしたい。

王子公園の特徴

- ・駅に隣接する大規模公園
- ・動物園やスポーツ施設など、幅広い年齢層が利用
- ・敷地内、周辺を含め多くの教育・文化施設、歴史的建造物が立地 (灘文化軸)

王子公園の主要施設



▶ 70周年を迎えた王子動物園



▶ 北区淡河町の竹を食べるジャイアントパンダのタンタン



▶ 王子スタジアムで開催されるアメリカンフットボールの試合

学習支援の充実を！（継続質疑）

教育・福祉

質疑のポイント

- ☑ 貧困の連鎖による教育格差を防ぐため、所得水準が低い世帯の生徒に学習機会を得る制度の構築をすべきであると、過去に質疑。
- ☑ 令和3年度より、多様な学習支援の実施というテーマで学習支援事業を行なうが、その狙いと取り組みはどういったものか。

「リモート型学習」、「リアル型学習」の2つの支援のスキームを行なう。休校期間の長期化と家庭の経済的事情で学習の遅れが拡大する懸念から、受験を控える中学3年生を対象にスタートしたリモートでの学習支援を、中学2年生、不登校の中学生、長期入院の小・中学生と段階的に実施を拡大した。現在 200 名超の中学生が大学生講師とマンツーマンで週 1 回、50 分のオンラインでの学習支援を受けている。



リアル型の新たな学習支援は、経済的に厳しい中学生に対し、大学生講師が高校受験に向かって伴走支援をするとともに、地元企業も参画して、将来の夢や選択肢を提示するという取組。まずは市内3か所で運営事業者を募集し、事業開始後の運営支援を行っていく。



▶ 西区の「無料学習支援教室」を訪問

令和2年予算議会にて、私、いさやま大介の質疑から1年後に、政策化できたことを高く評価するとともに、今後、全市への拡充を期待します。また、学習面だけでなく、文化・スポーツ的な要素を高めるために「習い事クーポン」の発行を要望しました。

こどもの居場所づくり、中高生の無料自習室など、注目の施策

- ① こどもの居場所づくりの全市展開
 - ・小中学生に夕食や自習の場を提供する子ども食堂への補助金支給要件を緩和。
- ② 学童保育利用者を対象とした学習支援の実施
 - ・公設の学童保育約200カ所に、児童の宿題の見守りに当たる要員を順次配置。
- ③ 中高生への無料自習室確保
 - ・文化センターの空き室など10カ所程度を、中高生用に自習スペースとして平日の放課後等に確保。



ICT等を活用した高齢者のフレイル予防を！

介護・ICT

質疑のポイント

- ☑ コロナ禍におき、外出を自粛している高齢者が増えている中、人と接する機会が減少することにより、フレイルの進行が危惧される。
- ☑ テレビ放送されたオリジナル介護予防体操プログラムが好評であったが、ICT等を活用したフレイル予防対策の取組の展開は。
- ☑ 公衆Wi-Fiが設置される「地域福祉センター」の活用して、子供の学習場所として提供するなど、多世代が集まる仕組みを構築すべき。



機械に不慣れな人でも簡単に利用できるオンライン会話ツール「リハブコール」や、ゲーム競技として楽しむeスポーツ等を活用した実証事業に取り組んでいる。

来年度から、神戸市看護大学において、重症化リスクの高い慢性疾患患者を対象としたオンライン看護のモデル構築等の取組を開始する。機械に不慣れな高齢者も多いことから、今後のフレイル対策は、ICTの活用と従来通り対面によるつながりを合わせた「ハイブリッド型の対応」を考えている。



▶ eスポーツを楽しむ風景

「子供の居場所づくり事業」の拡充により、子供たちが放課後に身近な施設としてGIGAスクールで配布されたパソコン等を使って、家庭学習できるような環境も整えていく必要がある。高齢者をはじめとする世代を超えたスマホ教室、オンラインの体験会などの活動を支援することで、「地域福祉センター」を地域の多世代交流の拠点にしていきたい。

令和3年度各会計予算について

令和3年度各会計予算及び関連議案、合計47件を要望12件を付して認定、承認しました。（要望事項の一例）

- ・新型コロナウイルス感染症対策において、スーパーコンピューター『富岳』を最大限活用し、原因の究明と予防対策に万全を期すこと。
- ・摩耶山の再整備については、六甲山と摩耶山でゾーニングを守りながら、現在定着している市民活動と観光の両立を図ること。
- ・公園不足が指摘されている摩耶小学校区においては、早急に公園用地の確保に努めるとともに 防災空地の活用も視野に、建設局と都市局の連携を図ること。



議会風景



▶ 令和3年2月 予算議会代表質疑 ▶ 予算特別委員会

■ 予算特別委員会、局別審査にて質疑したテーマはこちら

○こども家庭局

1. こども未来課の新設
 - (1) こども居場所づくりの全市展開
 - (2) 学童保育利用者を対象とした学習支援
2. 民設学童保育への助成拡充



○経済観光局

1. 商業者によるにぎわい・魅力発信活動に関する支援
2. 在籍型出向

○教育委員会

1. 今後の学校行事の在り方
2. コミュニティスクール



○港湾局

1. ポートタワーリニューアル期間中のにぎわいづくり
2. 海事分野の人材育成



○文化スポーツ局

1. フルートをはじめとした「音楽のまち神戸」の発信
2. 自然の家のあり方検討に向けた調査等の実施
3. ポートアイランドスポーツセンター再整備など（要望）



★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail:info@isayama-daisuke.jp



令和3年6月 一般質問

市政を身近に

発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.25

6月議会において、補正予算案含めた議案が審議され、可決、成立しました。

また、3つのテーマで一般質問にたちましたのでご報告致します。

今年度は、初めて「福祉環境委員会」に所属することとなりました。まだまだ、新型コロナウイルス感染症に関して予断が許されない状況が続きますが、議会・委員会審議を通して、責務を務めてまいります。

銭湯の支援・活性化について

質疑のポイント

- ☑ 緊急事態宣言中でも休業しなかった公衆浴場は、公衆衛生の場としての役割と、地域の高齢者や家族の交流の場として、改めて注目すべきである。
- ☑ 「高齢者見守り事業」へ市浴場組合連合会が参加するなど、各局が連携した「神戸・銭湯フォーカスプロジェクト」が始動したが、銭湯支援・活性化は？

○ **久元市長**：銭湯は地域社会にとって、非常に大切な存在である。ひとり暮らしの高齢者にとってありがたく、人々のふれあいの場でもある。今まで神戸市は、ボイラー取り換えへの援助や親子入浴割引などに援助してきた。今後は銭湯を残していくために、健康局と経済観光局が連携しながら、銭湯の「事業承継」への方策を早急に構築したい。

○ **いさやま**：今年度からは利用対象が「大人と子ども」に拡充され、地域子育て入浴割引として電子チケットで交付される「銭湯促進利用事業」、乳幼児連れでも利用しやすい設備の整備、高齢者や障がい者に配慮したバリアフリー対応など「誰もが利用しやすい銭湯の環境整備」、そして、災害ボランティアに対しての入湯割引に関しても質問しました。



地域子育て入浴割引（銭湯利用促進事業）



神戸市内 32 箇所の一般公衆浴場において、大人と子どもで銭湯を利用すると、子ども（18歳以下で神戸市在住に限る）の入浴料金が無料になります。さらに、子ども一人につき、大人一人の通常料金が半額（450円が220円）に割引となります。インターネットで電子申請された方に対し、銭湯で利用できる最大年40回分の電子チケットを交付します。

【申込み受付期間】 令和3年6月1日～令和4年2月15日

【チケット利用期間】 令和3年7月1日～令和4年3月31日

▶ kobe26.101tmp@fofa.jp に空メールを送信すれば、申請フォーム URL が送付されます。





食 を通じたつながり支援事業（コロナ禍で困窮している世帯への食料支援）について

質疑のポイント

- ☑ 長引くコロナ禍による食生活への影響を調べた神戸市のアンケートにおいて、減収の影響により、食費を切り詰めている状態の世帯があることがわかった。
- ☑ ある民間団体は北区で食品パックの定期的な配送等を行う取組みを実施した。
- ☑ 神戸市の「子育て世帯への食を通じたつながり支援事業」はどういうものか。

○ 恩田副市長：現在、市内のこども食堂の3割が休止し、残りの3割は弁当配布など形態を変えて実施している。

食支援団体からは食品を確保し続けることが課題であるという声があり、市内の食品メーカーなどからも、厳しい状況に置かれた子育て世帯にぜひ食品を届けてほしいという申出があった。この間を神戸市がつないで今回の事業が実施される。目的は、食品等の提供を契機とし行政等の支援につなげていくことと、地域での民間団体の取組も支援することである。現在、団体を選定中であるが、一人でも多くの支援を必要とする子育て世帯を、地域、行政の支援につなげたい。



▶ KOBE こども宅食プロジェクト
 （民間団体による支援）

○ いさやま：個人、企業などから預かった食料品、日用品を支援を必要とする人が24時間取りに行ける仕組み「コミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）」について研究して事業を広げるべきではないか、また、大学等の機関と連携しながら、親に頼れない若者、学生への食料支援もすべきではないか、と質問しました。

学 校における不審者への安全対策について

大阪教育大付属池田小学校に殺意をもった不審者が乱入し、児童が亡くなった事件から6月8日で20年が経ちましたが、この事件を機に、公立、私立問わず学校の危機管理対応、安全対策が大きく見直されました。「緊急事態は、いつでも、どこでも、だれでも、起きる可能性がある」という認識のもと、当事者意識をもって日々の安全対策に取り組むべきという視点から、学校における不審者への安全対策について、質問しました。

○ 長田教育長：付属池田小の事件、長田区で児童が犠牲になった事件を機に、設備面での安全対策と生徒への安全指導など強化をはかってきた。校門付近に、防犯カメラや遠隔で門扉を開閉できる電子錠などを、職員室には兵庫県警とのホットラインを設置している。

また、近隣学校園通報システム（危険な事案を学校間で共有する体制）を構築した。教員や児童の危機意識を高める取り組みとして、各学校ごとに「学校安全計画」、「学校安全マニュアル」等を作成している。

防犯対策・安全対策を継続し、有事の際には、しっかりと機能できるよう取り組む。





市政を身近に

発行元

共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.26

プラスチックゴミ削減へ!!

環境・地域

☑ プラスチック廃棄物の削減やリサイクルの取り組み等を強化する「プラスチック資源循環促進法」が、今年6月に成立した。

☑ 排出、回収、リサイクルなど、神戸市の取り組みがどう変わっていくのか。

☑ 須磨海岸を有する本市において、「海洋プラスチックの社会問題」に関して、市民への啓発などどのような取り組みを進めているのか。

質疑のポイント

○久元市長：海洋プラスチックごみなどプラスチックごみの削減は、神戸市においても非常に大きな政策課題だと考えている。

「プラスチック資源循環促進法」では、地方公共団体の責務としてプラスチック使用製品廃棄物の分別収集を行い、その再商品化に努めなければならないことを規定している。

再商品化にあたっては「容器包装リサイクル法」ルートを活用するのに加え、市町村と再商品化事業者が連携して行う事業が新たに加えられた。再資源化に向けて取り組んでいきたい。

○今西副市長：YouTubeなどを使い、1人1人の市民の生活に海洋プラスチックごみが密接に関係していることを理解してもらい、ポイ捨てをしないなどの行動変容につながるよう取り組んでいく。

○いさやま：神戸市では、ペットボトルのふたを原料とした指定ごみ袋（右下写真）を試験的に15万枚販売した。東播地域では全国で初めて複数自治体と企業が連携した「ボトルtoボトルリサイクル」という取り組みが始まる。

先進的なプラスチックごみリサイクルを展開すべき※である。

※「使用済みつめかえパック」および「ペットボトル」の水平リサイクルを目指すプロジェクトが、神戸市において始まります。



▶ プラゴミで作ったエコアート



▶ 月1回開催される神戸うみさくら「須磨海岸クリーンアップ」

▶ 従来品より50%CO2排出量削減を実現した指定ごみ袋



生活道路の交通安全対策を！

交通・地域

- ☑ 登下校中に車がからんだ痛ましい事故が発生しているが、子どもが集う施設周辺における交通安全対策は。
- ☑ 生活道路における速度抑制等を目的とした「ゾーン30」の設置基準は。
- ☑ 「ゾーン30」と物理的デバイスとの適切な組合せにより、交通安全の向上を図ろうとする「ゾーン30プラス」について、設置拡充すべきでは。



質疑のポイント

令和元年度に発生した大津市の事故を受けて総点検を行った。ガードレールや歩道の新設、路面へのカラー舗装を行うなど、現場に応じた安全対策を実施してきた。
今年に発生した千葉県の下校中の児童の列にトラックが衝突した死傷事故を受け、関係者で合同点検を実施をした。
10月末までに安全対策の内容を決定する予定である。



▶ 大和公園南側の段差（ハンプ）

「ゾーン30」は兵庫県警が判断し、交通量、交通事故の発生状況、地域からの要望を踏まえて調整の上、市内37ヶ所指定している。（「ゾーン30」整備前後で、事故件数は23.8%も減少。歩行者自転車事故に限れば19.4%減と、事故抑制効果があったと報告）



▶ 須磨区：スムーズ横断歩道

「ゾーン30プラス」とは、「ゾーン30」に加えて車両の速度抑制や流入抑制効果を高めるために段差のような構造物（物理的デバイス）を設置することで、交通安全の一層の向上を図るもの。構造物により、車のスピードが抑制され、通学児童の安全性が向上するのではないか。警察とよく連携して、地域の声も聞きながら、検討して適切に実施していく。

令和2年度各会計決算について

令和2年度各会計予算及び関連議案、合計23件を要望10件を付して認定、承認しました。（要望事項の一例）

- ・新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む市民のため、相談窓口の設置や後遺症外来について早急に取り組むこと。
- ・阪急六甲駅踏切北側の交通安全対策については、横断歩道前にハンプなどの物理的速度抑制策を取り入れるなど、抜本的な対策を講じること。



里山の保全・活用を！

環境

質疑のポイント

- ☑ UR都市機構より須磨区多井畑西地区の土地を神戸市が譲り受けたが、都市部と自然が近接するエリアならではの保全の取り組みが期待される。
- ☑ 発表から1年近くが経った現在の進捗状況はどうか。
- ☑ 民間アイデアやゾーニングの導入、他局との連携はどうか。

緑豊かな都市環境の形成を図るために、里山の保全・活用に向けた取組の方向性を、生産緑地の維持、耕作放棄地の活用、生物多様性の保全、竹林の適正管理の4項目で示している。地域住民と意見交換し、地域の歴史や文化にも配慮をしながら、検討を進めていきたい。



▶ 多井畑西地区の里山風景

「里山の保全活用に関する将来像」を令和3年度末に策定する。

様々な話題と課題を取り上げています！

『地域商業活性化支援事業』：商店街や市場全体を明るく快適にするためのハード整備を支援する「クオリティアップ事業」について、灘中央市場に開設されたトイレ休憩所を例に、実績等を質疑しました。新たな拠点では、駄菓子屋さんなどが定期的に活動し、お子さん連れ家族の居場所として活用されています。



▶ 灘中央市場トイレ休憩所



▶ 成徳公園（灘区備後町）

6月の本会議において、神戸市立学校における安全対策について質問をしました。灘区成徳小学校には、学校の校庭や遊具を公園として解放した「学校公園」があります。今後のフェンスの設置などを含めた安全対策については、地域や保護者と協議を行い進めるべきと質疑しました。

『神戸2022世界パラ陸上競技選手権大会』が、ユニバー記念競技場において開催予定です。約100カ国、約1,300人の選手が神戸を訪れますが、現在の準備状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を質疑しました。



議会風景



▶ 令和3年9月 決算特別委員会

▶ 同左

神戸市の新しいコールセンターをご存じですか？

令和2年より
**神戸市が新しい
コールセンターを
開設しました!!**

生活の困りごとや
登録・申請など
お気軽に
ご利用ください

KOBE

生活衛生ダイヤル
飲食店・美容室の許認可、新しい犬の登録、
犬猫の譲渡、食中毒疑いの通報等を受け付けます。

新しいワンちゃんのお登録をしよう!

新規開業の
飲食店の許可の
申請をしたい!

こちらにお願いできます!

078-771-7497
Fax: 078-3154-2192 Mail: puh-kobe-cs@port.ko.jp

道路公園110番
道路の不具合、公園の遊具の整備、河川の管理
などに関する通報を受け付けます。

遊んでしまった
公園の遊具を
修理してほしい!

道路に車が
あかしてある
車をほしい!

こちらにお願いできます!

078-771-7498
Fax: 078-3154-2194 Mail: puh-kobe-roadpark@port.ko.jp

クリーン110番
産業廃棄物の不法投棄・野外焼却に関する
調査及び担当窓口の案内を行います。

野外焼却を
調査してほしい!

不法投棄を
調査してほしい!

こちらにお願いできます!

078-771-7499

KOBE ぼすと

市民の皆様からアプリに投稿いただいた
地域課題を市職員が現地確認し、対応します。
※神戸市の保有する施設が対象となります。

道の駅の課題に
気があてては
話してもらえない!

遊歩道の公園
がなくなってほしい
芝生も壊れてほしい!

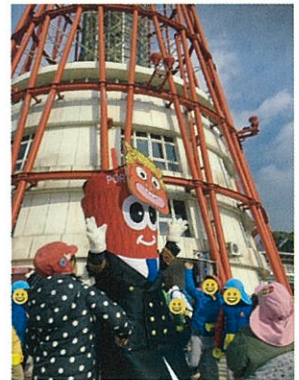
イラスト：山本こもも

App Store
Google Play

少しのお別れ!! 「神戸ポートタワー」2年後にあいましょう!

鼓形の双曲線構造が独特である「神戸ポートタワー」は1963年に開業しました。このたび、大規模リニューアル工事が行われ、開業60周年の節目となる2023年度に営業再開見込みです。私、いさやま大介も港湾局において、ウォーターフロントエリアの質疑を重ねてきました。

- ポートタワーのリニューアルと中突堤中央ビル南館の再整備／リニューアル期間中のにぎわいづくり
- メリケンパークにおける光のイベント



★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2階東
TEL: 070-1930-2368 FAX: 078-2711-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp



市政を身近に

発行元

共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.27

■ 「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」が全会一致で採択されました。

ロシアは、去る2月24日にウクライナへの軍事侵攻を開始し、一般市民を含め多数の死傷者が出ている。

武力によるロシアの攻撃はウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、かつ明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認できない。

よって、神戸市会は、ロシアによるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し厳重に抗議の意を表するとともに、ロシア軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。また、政府におかれては、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く求める。以上、決議する。



▶ ウクライナ国旗カラーにライトアップされたモニュメント

令和4年3月1日 神戸市会

王子公園の再整備、ゾーニング等見直しへ

公園・地域

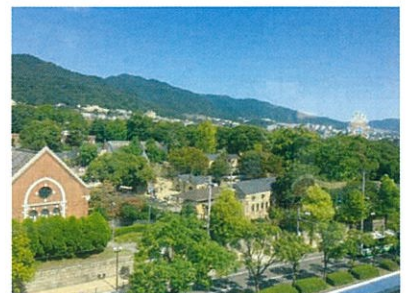
質疑のポイント

- ☑ 再整備素案の内容、周知およびその進め方に対して、1456通（5632件）の多数の意見がパブリックコメントに寄せられた。
- ☑ 公園機能の一部を変換してまで、この場所に大学を誘致する優位性は何か。海岸線沿線など他のエリアは考えられないか。
- ☑ 多数の市民意見を受けて、今後の整備の進め方等はどうなるか。

副市長：競争力の高い大学は、学生が確保しやすい大都市中心部の立地志向が高まっており、阪神間の山麓部でかつ交通利便性が高い文教エリアとして、王子公園が最適と捉え、地下鉄海岸線沿線については、誘致の対象とは考えていない。

今回の市民意見募集の意見を踏まえ、

今後の進め方、ゾーニングについて一定の見直しを検討していく。



▶ 原田の森とよばれる閑静なエリア



孤立する若者やひとり親家庭への行政支援を！

福祉・子育て

- ☑ コロナ禍においては、経済的に余裕のない人に大きな影響が生じた。
- ☑ 若者支援NPO団体「D×P」では、15歳から25歳を対象に現金給付支給3000万円以上、食糧は累計4万食を越える支援を実施。
- ☑ 孤立する若者やひとり親等を行政支援に結び付けるために、相談のオンライン化、電子申請の拡充等が有効であると考えている。

質疑のポイント

行政の相談窓口の敷居が高いと感じたりする等の理由から、支援情報を把握することができず、孤立している人達がいる。今年度は、食品等の提供を通じて、子育て世帯を行政等につなげる民間団体を支援する「子育て世帯への食を通じたつながり支援」、女性への生理用品や食品等の提供をきっかけに相談につなげる「コロナ禍で困難を抱える女性に対する相談支援」に取り組んでいる。ひとり親家庭に対して、SNSによる就業相談、また養育費確保に向けたオンラインによる相談、ラインによる情報提供なども実施している。孤立する若者などを行政の支援に結びつけていくため、行政とNPO等の民間団体間も含めて、連携しながら支援を市全体に広げていくことが重要である。



▶ D×Pからデジタル庁への提言

成人年齢が18歳に引き下げられる事への対応は？

- ☑ 成年年齢が4月から18歳に引き下げられ、成年の定義が見直される。
- ☑ ローンや携帯電話の契約などは親の同意がなくてもできるため、若い成年を狙い打ちにする悪質な業者の増加を懸念している。
- ☑ 消費トラブルの未然防止や啓発等、どのように対応していくのか。

質疑のポイント

久元市長：今年の成人式での新成人に向けた啓発や、消費者トラブル事例や対処方法を描いた啓発アニメーションも、神戸芸術工科大学との共同研究で制作をした。今後、県市の教育委員会と密接に連携をし、高等学校や中学校にリーフレットを配布するなど厳格に取り組んでいく。民法改正は、18歳が民事契約の部分でも大人になることを制度化したもの。新しく成人になる方には自覚を持ち、自らの責任と判断で行動することを期待したい。



校園の防災対策を進めます！

教育・災害

- ☑ 令和4年2月に「学校園防災マニュアル作成指針」を改訂し、これをもとに各学校で防災マニュアルの改訂を行う。
- ☑ どのような条件の時に児童・生徒を学校に待機させるか、また、保護者へ引き渡す場合の周知方法はどのように考えているのか。
- ☑ 台風などの災害が激甚化している昨今、安全が危惧されると学校が判断した場合、保護者の状況も配慮した上で学校に待機させる対応を要望。

質疑のポイント

学校の立地、実情に応じて「学校防災マニュアル」を、全ての学校園で作成をしている。近年多発している集中豪雨、台風等による風水害等を踏まえ、今年度、文部科学省から示された新たなガイドラインを参考に改定をした。保護者に子供を引き渡す際の手順や連絡内容、災害の種類や状況に応じた具体的な行動など詳細で具体的なマニュアルを作成した。計画的な防災訓練や防災学習をさらに充実させることで、安全確保により一層努めていく。また、地震が発生し震度5弱以上の場合には、保護者が安全に迎えに来られることが可能であれば、速やかに引き取りに来てもらう。丁寧な周知をしながら、普段から災害時に向けた備えをしっかりと行っていく。



公園不足問題に取り組んでいます！

公園・子育て

- ☑ 過去の神戸市公園緑地審議会にて指摘されている通り、摩耶小学校区では公園不足が地域課題とされている。
- ☑ この課題について、現在の取り組み状況はどうか。
- ☑ 摩耶小学校グラウンドの開放等、暫定的な公園機能の確保に局を横断した対応をすべきではないか。

質疑のポイント

摩耶小学校区は身近な公園が不足しており、子育て世代などの方々から公園整備の要望を受けている。この地域で公園もしくは公園的利用ができる場所を確保することは、大切なことだと思っている。民有地を借地し公園として利用する『市民公園』の制度の活用も含めて、公園として利用できる土地がないか、空き地について現地調査などを行っている。地元の皆さんからの情報や、都市局など関係する部局とも連携しながら、公園として利用できる可能性のある場所の把握に努めている。



議会風景



▶ 令和4年2月 予算議会代表質疑 同左：予算特別委員会（消防局・危機管理室）

■ 令和4年度各会計予算及び関連議案を認定、承認しました。

■ 暮らし、健康、インフラを支えるテーマで質疑しています。

○健康局

1. 保健師の役割、自殺対策
2. データを活用した高齢者の医療・介護予防の実施

○福祉局

1. 障害福祉サービスの利用の充実
2. ひきこもり支援の充実

○消防局・危機管理室

1. 総合防災訓練と緊急消防援助隊
2. 特殊詐欺の防止の取り組み

○建設局

1. 摩耶小学校区域における公園不足問題
2. ICT等を活用したインフラ点検

○水道局

1. 水道標準プラットフォーム
2. SNS等を活用した広報

○環境局

1. 外部給電・神戸モデル事業
2. 地域エネルギーセンターの構築



■ 議員定数の削減（69 → 60）を進めていきます！

議会制度改革などを議論する検討会が3回開かれ、オブザーバーとして参加しました。

現在69名の定数について、

議員一人当たり人口を、福岡市（26,006名）、川崎市（25,638名）と同等水準にするためには将来的に60にすべきと考えています。

段階的な削減案として、64（東灘、兵庫、北、垂水、西、各区1減）を提案しました。

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail:info@isayama-daisuke.jp

前島 浩一

まえじま こういち

発行元 共創・国民民主神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1【1号館26階】
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

令和3年3月 予算特別委員会(総括質疑)

令和3年度予算案を審議する市会(2月議会)が、令和3年2月18日～3月29日の会期で開会されました。新型コロナウイルス感染拡大禍での医療提供体制の確保、市民生活の安定、経済活動への支援強化等々の喫緊の課題に直面しつつ、ポスト・コロナ時代も見据えた取組みに対応していくことが求められている情勢下での市会審議でした。

当初予算審議では、予算特別委員会の第一分科会に所属し、行財政局・各行政委員会、企画調整局、都市局、交通局、建築住宅局に対する局別質疑を行い、局別審査終了後は会派を代表して市長、副市長等に対する総括質疑を行いました。総括質疑及び局別質疑の内容についてはおおよそ以下に記載の通りです。

第4波ともいわれる変異株を含む新型コロナウイルスの感染拡大傾向の中にあつて、市民の命と健康を守ることを最優先に、ワクチン接種の確実な推進と感染拡大防止に向けたあらゆる手立てを講じていくことが今一番重要な取組みといえます。

総括質疑

1 ヘルスケアデータ連携システムの構築と今後の展開について

Q 市内在住の75歳以上と国保の被保険者約60万人を対象に、個人の医療、介護、健診等のデータを連携させることによって、市民全体の健康状態や課題の把握を通じて各種の健康増進施策に活かせる先進的な知見を得ることや、生活習慣病と要介護状態の関連性や発症予測が可能となるなど、この連携システムは画期的と思うが全体像はどうか。

A (久元市長)

ヘルスケアデータ連携システムは、科学的根拠に基づく保健事業の推進による市民サービスの向上を目指し、医療、介護のレセプトデータや健診データ、予防接種データ等を連結し、匿名化したシステムとして新たに整備するものです。これは、市民全体の健康状態や課題の把握も行うことができ、生活習慣病関連では発症予測による効果的なアプローチが可能になります。今後は新型コロナウイルスワクチンの効果や副反応に関しても研究を行い、政策立案に活用していきたいと考えております。

Q 個人が希望すれば、市民一人一人が疾病予防やフレイル予防などの自身の健康管理に活かすデータとしてフィードバックすることは可能かどうか。

A (恩田副市長)

現在は、その個人情報を市が厳格に管理していますが、今後スマートシティを目指していく中では、データは市民のものとの前提で、この連携システムのデータも本人希望により、疾病予防、フレイル予防などの利便性の高い個人向けサービスに活用できるよう準備を進めていきたいと考えております。

2 西神中央駅周辺商業施設の駐車サービスの共通化について

Q 西神中央駅周辺の商業施設の駐車料金は基本的には同じ料金となっていますが、店舗を利用した際のサービス制度が異なっております。

OMこうべが運営主体のプレんティは、ウエストメンバーズカードを提示して110円以上購入すると90分の無料サービスが受けられますが、旧そごう西神店の跡を継ぐ交通振興と双日が運営主体で11月グランドオープン予定のショッピングセンターは、現段階では従来と制度的には変更の予定がない、即ち3000円以上の購入で90分の無料サービスのままとのこと。百貨店とは異なり、規模の大小はあるものの同じような専門店の集合体ならば、更に新しい店舗が魅力あるものとして定着していくためにも、車が主体の西神地区において、駐車サービスについてプレんティとの共通化もしくは同様のサービス制度を導入してはどうでしょうか。

A (岸田交通局長)

商業施設運営に伴う駐車サービスについては、施設の運営者がテナント構成などとともに、その立地環境などを踏まえて全体的な運営計画の中で戦略の一つとして検討し、集客の最大化を目指すためのものと私どもは考えており、これまで数々の商業施設運営の実績がある双日が全体計画の中で検討されるものと認識しております。ただ、ご指摘の通り、顧客が定着し、施設の活性化が図られ、ひいては西神中央駅周辺の全体の活性化が図られるということは、おおいに望ましいことですので、双日には改めて駐車場の活用も含めてあらゆる視点から最大限に魅力的な施設にしていきたいということをお願いしていきたいと考えております。

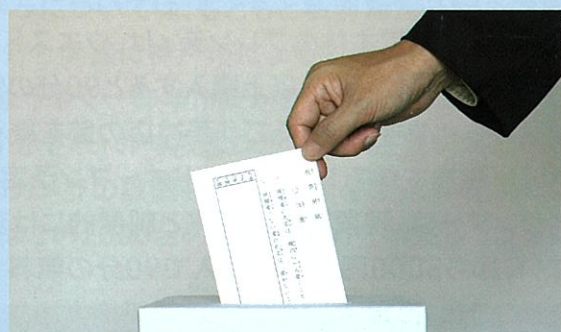
予算特別委員会の 審議から

行財政局・行政委員会(選挙管理委員会)

Q 私が以前から、開票作業の効率化のため読取分類機の全区への導入を主張してきましたが、この度ようやくそれが実現することになりました。

遅ればせながらもスムーズな導入をしっかりと進めたいことと、併せて今回条例制定で市長選に限定して記号式の導入も図られることになりましたが、投開票ともに効率化に貢献する取組みとして評価する一方他の選挙、例えば市議員選挙にもこの記号式を拡大していく考えはないかどうか。

A 新年度予算で1億200万円、34台分を計上させていただいておりますので、予算を議決いただいたら、来年度速やかに手続きをしていつあるかわからない衆議院議員選挙や7月の知事選挙に備えていきたいと思っております。また、記号式の導入については、市議選は候補者の数からいってなかなか難しいと思っておりますので、今回は市長選に限定して実施し、その実績を見て他への波及等についても考えていきたいと思っております。



都市局

Q 神鉄沿線の活性化については、新年度予算の中では駅の再整備の関係で神戸三田線沿線の花山、大池駅等が対象になっていますが、本来活性化すべきは粟生線沿線であり、駅が拠点となって取り組んでいくまちづくりが重要であり、そのためにはほとんどが調整区域である駅前の再整備をどう進めていくのか。

A 神戸三田線の花山、大池駅については、バリアフリー化がまだできていないこともあり鉄道事業者の更新の意向に合わせて予算措置したのですが、粟生線については連携協定自体のターゲットでもあり、当然その活性化については取り組みを進めてまいります。今までも駅舎の美装化やトイレの洋式化等に取り組んできましたが、新年度には、えきまち推進課という組織もできますので、その組織をフル活用して、地域の皆さん方の考えや意向を聞きながら、何ができるかを考えていきたいと思っております。

企画調整局

Q 国の制度から除外された地域おこし協力隊の神戸市独自の取組みとして神戸版地域おこし協力隊が元年度から導入され、1都3県の首都圏から北区や西区の農村・里山地域に移住、定住してその地域の活性化に向けての活動や取り組みが進められていると聞かすが、その成果と今後の展開について伺いたい。

A 昨年の2月より3名の隊員に意欲的に活動いただいております。本年4月より更に1名が西区(神出町)で農業に従事する予定です。北区大沢町ではコロナで打撃を受けたイチゴ農家の支援にクラウドファンディングを活用した資金調達で成果を挙げている事例や、西区玉津町では大麦とホップを独自の有機農業手法で栽培し、神戸産100%の材料を使用したローカルビールづくりに挑戦されている事例等があり、ウイズコロナの時代だからこそ、都市の利便性と自然の豊かさを兼ね備えた神戸への移住ニーズが高まっているとの認識のもと、新たに3年度に隊員1名の増員も進め、これらの取組みを東京のふるさと回帰支援センターでの発信等を通じて神戸での里山暮らしのよさをアピールしていくと共に、地域や事業者が隊員の活動を支援しつつ農村・里山の活性化を促進していきたい、と考えております。



交通局

Q データに基づく持続可能な路線バス網の構築に関してですが、現在企画調整局と一緒に有識者会議等を通じてその考え方の策定に取り組んでいますが、市バスの路線問題でもありますので、当然交通局が主体となってどのような点に重点を置いて取り組んでいくのか、その進め方等について伺いたい。

A これまでは営業成績を基に路線変更、増減便をおこなってまいりましたが、この度有識者会議等で議論いただいている内容・報告を踏まえつつ、交通局が蓄積してきたもの、経験、知見等を反映させて基本的な考え方を策定し、市民・利用者の納得性を高めながら持続可能なバス路線網が構築できるよう取り組んでいきたいと考えております。
(西神中央駅周辺の商業施設の駐車サービスについては、総括質疑の中で取り上げておりますので、ここでは省略します。)

建築住宅局

Q 第3次市営住宅マネジメント計画について、大規模団地として2次マネの時から検討が進められてきた押部谷住宅と栄住宅については、具体的な事業手法等についてどのように入居者への意向確認なり説明する機会を設けるのか。

A ご指摘の押部谷住宅と栄住宅については、2次マネジメント計画の時点から、応募状況や入居者状況の分析を行い、既存住宅を活用しながら将来需要に対応した住宅規模に再編していくことを基本的な考え方として検討を進めてきており、現在の入居率が押部谷で43.9%、栄で59.3%となっており、入居率が落ちているとはいえ共に300戸は超えている大規模団地であり、全部廃止出来るような規模でもないため、建て替えではなく改修即ち一部の既存住宅にエレベーターを設置して集約を図ることになると考えております。

3年度は、事業手法の考え方や大まかな手順を説明し、その後事業計画を策定し、さらに改修後の家賃や移転料等を整理して入居者への説明会を改めて開催して丁寧な対応に努めていきたいと考えております。



令和3年3月 予算特別委員会

西区内の動き

前島浩一の提言等で改善されたこと

西区新庁舎 連絡通路へのエレベーターの設置

お年寄りや障がいのある方たちが、ダイエー店舗内を通らなくても区役所へ行けるように、プレンティ広場等からのアクセス路として連絡通路へのエレベーターの設置を実現しました。

文化・芸術ホール、新図書館 連絡橋の拡幅

西神中央駅から文化・芸術ホール、新図書館への動線としては、現在の横断歩道と2F部分にあたるやや狭い連絡橋とがありますが、車イスの方の利用や通行する人数等を考え、その連絡橋を拡幅して付け替えると共に、駅からの動線として現在の階段の所にエレベーターを設置して、安心してスムーズに通行できる環境に改善します。



1

欧米等に比べて政府のワクチン対応が遅れているため、急激な感染者の増大につながっています

コロナワクチンの接種について

1 高齢者入所施設に入所する高齢者及び従事者への接種

4月中に提供される高齢者向けワクチンは限られた量となるため、まずは高齢者入所施設の入所者及び従事者を対象として、4月12日より北区の特別養護老人ホーム「ふじの里」190人、西区の介護老人保健施設「安田記念緑風苑」260人に対してファイザー社製ワクチンの接種を始めました。

2 ワクチンの高齢者への接種スケジュールについて

神戸市では、集団接種会場(12会場)のほか、身近な診療所・病院でも順次接種できるよう準備を進めています。接種券の発送は、75歳以上の約24万人には4/19に行い、コールセンター等での予約受付開始は4/20からとし、5/10からは集団接種会場での接種開始となります。また、65歳以上74歳未満の約19万人には、5/17に接種券の発送を行います。併せて5/17からは診療所・病院での個別接種が開始されます。

ワクチン接種を受けてもすぐに抗体が出来るわけでもありませんので、引き続きの感染予防対策に万全を期していく必要があります。

●各区の集団接種会場の一覧表

各区1か所(北区・西区は2か所)に開設

東灘区	御影公会堂
灘区	JR灘駅 駅舎3階
中央区	三宮OPA2
兵庫区	兵庫区役所
北区	①北区文化センター
	②エコー・リラショッピングセンター
長田区	長田区文化センター
須磨区	須磨区役所
垂水区	垂水文化センター
西区	①西神中央駅ビル
	②西公会堂(5月)
	↓ 西水環境センター玉津処理場(6月以降)

さらに、**車での来場(広域アクセス)が便利な接種会場として、イオンモール神戸南(兵庫区)にも開設**

2

防犯カメラに対する今後の課題について

防犯カメラについては、もともと私前島浩一からの長年にわたる提案で、街灯と同様に神戸市による設置と管理を主張、要望してきましたが、ようやく一昨年度市長から、2000台の公営による設置と管理の方針が示され、昨年度より通学路や主要駅周辺を中心にネットワーク型のカメラの設置を進め、公営化事業も順調に推移しております。まずはこの2000台の設置に全力を傾注してフォローしていく

と共に、今日まで自治会や地域団体等で設置していただいた防犯カメラ(約2700台)の維持・管理については、現在6年経過の更新時には更新補助として8万円の補助が出ていますが地域の負担が発生するケースも多く、市民的公平性からも可能な限り神戸市が行うネットワーク化即ち直営化する方向で対処するよう働きかけてまいります。



3

道路問題の課題解決に向けて

玉津大久保線の事業化

平野町上津橋地区のまちづくりの事業化の中で、明石市側からの車の流入が多く、玉津・平野南部地区(国道2号や県道神戸明石線等)の朝晩の渋滞解消と事業進捗への期待から、玉津大久保線の早期着工が望まれています。既に事業着手している明石市からの要望もあり、神戸市としても事業化に向けて最大限の努力が必要といえます。



神戸三木線・平野三木線 西盛口交差点の改良

県道神戸三木線と平野三木線が交差する西盛口交差点は、朝晩の渋滞が常態化しており改良が急務となっております。以前に前島からの提言で神鉄粟生線をまたぐ部分の平野三木線の線形や幅員を改良して大型車等の通行への安全対策を講じた経緯がありましたが、昨今の交通量の増大に対応するためには変則交差点という制約の中で出来る最大限の改良として、交差点そのものを現在より20m程度西側へ移して交差点の形状を少し改善し、併せてそれぞれの右折レーンを拡張し、特に西側からのレーンは総延長約100mほどを確保してスムーズな通行に努める計画となっております。現在、地権者との間で用地交渉等が進められており、用地を確保して順次工事に着手し、交差点の形状確保や南北の歩道の設置等を図りながら、右折レーンの拡張等々おおよそ5年ほどかけて全体の完成、供用開始の予定です。



第2回定例会にて

市政だより

令和3年第2回定例会は、12月8日に閉会しましたが、臨時議会も12月22日(1日のみ)に開会されました。「新型コロナウイルス感染症対策」としてのワクチン接種(3回目)やPCR検査等の感染症拡大防止に対応した補正予算と、「国の新たな経済対策」を受けて子育て世帯・生活困窮世帯の生活、暮らしを速やかに支援するための給付金支給にかかる補正予算の審議は、臨時議会を経て全会一致で可決・承認されました。

市中での感染は、12月(中旬)現在、全国的にも落ち着きを見せておりますが、WHOが新たな変異株として指定したオミクロン株ははまだ実態が解明出来ておらず、デルタ株に代わって大きな感染力を示すのか否かは不明です。いずれにしても、私たちが自ら出来る感染防止策としては、三密を避け、マスクの着用、手指の消毒、手洗いの励行等を常に心がけると共に、3回目のワクチン接種にもしっかり対応していくことが重要です。

昨年末の第2回定例会では、最終日に一般質問を行ない、駅前の活性化策として当局が進めようとしているリノベーションの方策について質すと共に、4月にオープンする西神中央駅前元そごう西神店跡の「エキソアレ」の活性化のため、隣接するプレティとの駐車サービスの統合化を実現すべく働きかけました。両駐車場でのOMこうべのカード(ウエストメンバーズ)の共通利用については実現の見通しとなりましたが、最終的にはそのカードを「エキソアレ」店内でも使用出来るようにすべく更に強力に働きかけて参ります。

今年1年もコロナ禍ではあっても、魅力ある神戸のまちづくりをめざして市民生活の安全・安心、経済の活性化等々に取り組んで参ります。

令和4年1月

神戸市会議員 **前島 浩一**

(共創・国民民主神戸市会議員団 団長)

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

TEL:078-322-5845 携 帯:090-9715-7733

FAX:078-322-6171 発行 共創・国民民主神戸市会議員団

郵便はがき

